

開催日	事業内容	開催場所
令和4年 5月26日	監査会:・令和3年度会計監査	島根県農業会議会議室(松江市)
6月28日	第1回三役会:・令和4年度総会について・研修会について ・意見交換会について	島根県農業会議会議室(松江市)
7月19日	第1回役員会:・令和4年度総会について・研修会について ・意見交換会について・政策提言について	ラピタウェディングパレス(出雲市)
8月5日	令和4年度定期総会	書面
8月9日	第2回三役会:・農林大学校との打合せについて・知事・農林水産部長等の対応について・研修会について 農林大学校との意見交換会:・校長・教育部長との意見交換	武田旅館(大田市)
9月28日～29日	中国四国ブロック農業法人協会研修会:・事例発表・基調講演・現地視察	広島国際会議場(広島市)
10月31日	第3回三役会:・政策提言書について・経営管理能力向上研修会について・リクルート活動について・法人協会名簿について	ラピタウェディングパレス(出雲市)
11月21日	島根大学との交流:・県農業法人協会の取組みについて ・農業と一般企業など労働環境の違いについて	島根大学生物資源科学部101講義室(松江市)
11月29日	研修会 演題:「みんなの生きる場をみんなでつくる」 (講師:株式会社類設計室 農園事業部部長 原 大輔 氏)	ラピタウェディングパレス(出雲市)
12月20日	第4回三役会:・政策提言書について・人材確保対策について ・役員会開催について・新規会員について	島根県農業会議会議室(松江市)
令和5年 1月30日	第5回三役会:・政策提言について・農業法人協会名簿の作成について・インターンシップ事業について・実態調査について・新規会員について 第2回役員会:・政策提言について・農業法人協会名簿の作成について・インターンシップ事業について・実態調査について・新規会員について	ラピタウェディングパレス(出雲市)
3月6日	島根県農林水産部長との意見交換・政策提言書の提出	島根県農林水産部長室(松江市)

令和4年
11/29
TUE
出雲市

経営管理向上研修会

令和4年11月29日に島根県農業法人協会経営管理向上研修会を開催しました。講師に、(株)類設計室 農園事業部 部長 原大輔氏を招き、演題は「みんなで生きる場をみんなでつくる」と講演頂きました。経営理念でもある「地域を守る、地域の農家活力のある戦略」「客が何を求めているのか、社会が何を求めているのか」など、異業種連携の取組内容を具体例を出して講演頂きました。



令和4年
11/21
MON
松江市

人材確保PR活動 (島根大学)



島根大学学生(生物資源科学部)に対して、島根県農業法人協会会員の概要説明と農業法人への人材確保のPR活動を行いました。

令和5年
3/24
FRI
出雲市

人材確保PR活動 (陸上自衛隊出雲駐屯地)



陸上自衛隊出雲駐屯地で行われた若年退職隊員へ、農業法人への人材確保PR活動を行いました。

自然の力でつくる
昔ながらの有機栽培で
おいしいお米を届けたい

農業生産法人 有限会社 三和農産
(島根県出雲市船津町439-1)
取締役 渡部 祐三氏

有機栽培による水稻をはじめ、さまざまな商品を加工・販売まで手掛ける6次産業を行う三和農産。生産者も消費者も、みんなが幸せになれる会社を作りたいと話す、渡部社長を訪ねました。

会社を設立された経緯を教えてください。

創業は昭和24年、私の祖父が「三和商会」を設立して、農機具販売業をはじめました。それから長い間、農機具の販売や修理業を行っていましたが、平成元年に私の母親が体調を崩したことがありました。改善のためにまずは食生活から見直していこうと、食事療法として玄米食に着目しました。きれいに精米した白米ではなく、栄養が詰まった胚芽やぬか層を残した玄米を主食とする健康法です。

米の表皮も一緒に食べる玄米食にするなら、農薬などを極力使わずに栽培したものがいいという話を聞き、そういうお米を探したんですが、当時なかなかそういったお米が身近になかったんですね。通常、水稻の多くは精米することを前提に栽培されていますから、農薬や化学肥料を使ったものが多かったわけです。もともと農機具を扱う仕事をしていましたし、玄米食に向けた米がなければ作ろうということで、父親自らが栽培してみることに。小さな面積でしたが、有機栽培でお米を作り始めたのです。

農機具販売から農業生産の方へ移行されたんですね。

当初は農機具販売を続けながら、並行して農産部門として米作りを行っていました。そのうち、同じように有機栽培の玄米がほしいという方が結構おられるということが分かってきて、少しずつお米の販売もはじめるように。ニーズは県内だけでなく全国に広がっていき、米作りの事業も拡大していきました。

そして平成6年に農産部門を法人化して「三和農産」を設立し、農機具販売から農業生産の方へ移行していきました。平成11年になって、農林水産省で有機農産物等の表示の適性を図るためのJAS法が改正されたため、当社では平成13年に水稻生

産部門で有機JAS認証を取得しました。有機JASの取得は県内でもかなり早い方だったと思います。

そうした中で、有機栽培のお米を使ったお餅やおかきといった加工品を作って欲しいという要望の声があり、それを受けて平成14年には加工工場を建設いたしました。現在は玄米・白米のほか、お餅や生みそ、おにぎりなど加工品の種類も増え、栽培から加工、販売まで手掛ける6次産業を行い、実店舗やECサイトでの販売を行っています。

三和農産のこだわりを教えてください。

お米や加工品などの生産物において、ただ作って販売して終わりという考え方はしておりません。「感謝」「感動」「成長」を経営理念に、生産者も消費者も、みんなが幸せになれるような形をつくりたいと思っています。

そういった意味で、人材育成にも力をいれております。まずは社員を大切に、成長できる場所を作っていくことで、社員たちもまた消費者のために本当にいいものを作ろうとする、そういういいサイクルができるように心がけています。

今後の目標や会社としての思いを教えてください。

昨今の世界情勢の影響で、日本の自給率の低さが明るみになったように思います。資源が少ない上に食べ物のコントロールができなくなると、今よりもっと悲惨な状況になるでしょう。そうした中で、資源も材料も国内で調達できる有機農業というのが、自給率を上げる上で見直されたいと思います。そして我々もインフラとしての立ち位置をしっかりキープし、若い方たちに、農業はそういった価値のある仕事だということを伝えていきたいと思っています。

日本には共存共栄という文化があります。最近よく耳にするSDGsも、日本では古くから自然に行っていたことも多いですね。そうした日本の古き良き文化に今一度立ち返り、目の利益ばかりを考えるのではなく、長期的に誰もが幸せになれるような会社を目指していきたいと思っています。



渡部社長(右)と、有機栽培を行うきっかけとなった母の曉美さん。



さまざまな加工品を展開。中でも人気は玄米のお餅。

農事組合法人 アグリードいずも 「食創工房レコルト」



山間の穏やかな田園風景の一角にある「食創工房レコルト」は、斐川平野の羽根地区にあります。「レコルト」は「収穫」を意味し、「農事組合法人アグリードいずも」で収穫された「つや姫」を筆頭に、6次産業化の地域農産物を活かした商品づくりを積極的に行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて苦境にたたされておりますが、自家製米粉と自家生産小麦粉を使ったドーナツやシュークリーム、季節の果物で彩られたタルトやケーキ、組合長自らが考案し販売している肉みそシリーズ等、惣菜製造も農家だからこそのこだわりを持って添加物を使わず、製造販売しています。



出雲市斐川町三絡 営業時間 9:00～18:00
TEL・FAX 0853-25-8867 (季節やイベント等で変更になる場合もあります)
URL <https://agulead.com/recolt/>

株式会社 扇原茶園



扇原茶園は日本海を望む茶畑で、日本茶の栽培から製造まで一貫して行っているお茶農家です。お茶はペットボトル飲料の原料として、また、飲用として地元を中心にスーパーや道の駅などで販売しています。そして近年では、茶葉を使ったクッキーや羊羹などの製造も行い、様々な形で扇原茶園のお茶を楽しんでいただく機会を増やしています。



また、お茶畑を通じて多くの方にお茶に触れていただきたいという想いから、お茶摘み体験やお茶を使った料理の体験も行っております。

浜田市田橋町
URL <http://www.senbarachaen.jp/>
WEB SHOP <https://www.senkichiya.com/>

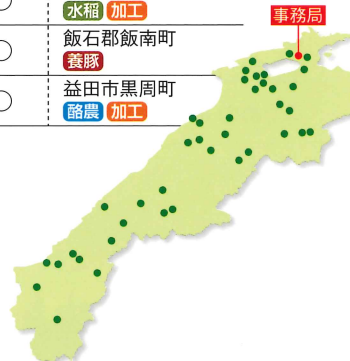
Membership List

令和5年7月現在

法人名	正会員	青年部	住所および業種
(株)勝部農産	会 長		出雲市斐川町 水稲 大豆
木次乳業(有)	副会長	理 事	雲南市木次町 酪農 ぶどう 加工
カンドーファーム(株)	副会長	監 事	松江市古曾志町 水稲
(有)福田ファーム	理 事	○	出雲市野石谷町 養鶏 加工
(株)いづも農縁	理 事		出雲市稲岡町 モロヘイヤ エゴマ 加工
(有)コスモ21	理 事	○	仁多郡奥出雲町 水稲 焼酎
(株)松永牧場	理 事		益田市種村町 肉用牛
(有)森脇鶏農場	理 事		雲南市大東町 養鶏
(株)オーサン	理 事		邑智郡川本町 エゴマ 加工
(有)ちくさん緑化	理 事		出雲市佐田町 肉用牛
(有)やさか共同農場	理 事	部 長	浜田市弥栄町 水稲 味噌加工 野菜
(有)旭養鶏舎	理 事	副部長	大田市波根町 養鶏 加工
(有)木次ファーム	監 事	○	雲南市木次町 養鶏
(有)後長牧場	監 事		飯石郡飯南町 酪農
(株)ファーム木精	○	○	飯石郡飯南町 水稲 野菜 加工
(有)中山農場	○	○	大田市川合町 酪農
(有)三和農産	○	○	出雲市船津町 水稲 加工
(有)桜江町桑茶生産組合	○	○	江津市桜江町 桑 加工
(株)大田原農場	○		大田市水上町 酪農
(農)河本牧場	○		益田市匹見町 肉用牛
(農)京村牧場	○		鹿足郡津和野町 肉用牛
ティーナチュラル(有)	○	理 事	松江市乃木富岡町 水稲 野菜 加工

法人名	正会員	青年部	住所および業種
(有)山本産業	○		邑智郡邑南町 養鶏
(株)大久保養鶏農場	○		益田市左ヶ山町 養鶏 フロイラー
(株)藤若農産	○		浜田市金城町 水稲 ぶどう 加工
(農)アグリードいずも	○		出雲市斐川町 水稲 ハトムギ 加工 大豆
柿壺(株)	○		出雲市野石谷町 柿 加工
(株)米らいふ	○		出雲市斐川町 水稲 大豆
(農)おきす	○		出雲市斐川町 水稲 大豆 ハトムギ ひまわり 大豆
(株)わなか	○		大田市久手町 水稲 いちご メロン 切花
(株)LOCAL RICH 3in	○		益田市高津 ぶどう
シックス・プロデュース(有)	理 事	副部長	邑智郡邑南町 酪農 加工
びおふあーむ		理 事	邑智郡美郷町 野菜
丸大島根ファーム(株)		理 事	飯石郡飯南町 養豚
岩田農園(株)	○	監 事	仁多郡奥出雲町 水稲
(有)アグリみと		○	益田市美都町 水稲 いちご
(株)扇原茶園		○	浜田市田橋町 茶
(農)明るい農村		○	松江市西尾町 水稲 加工
奥出雲ファーム(有)		○	飯石郡飯南町 養豚
(株)メイプル牧場		○	益田市黒周町 酪農 加工

会員
所在地
MAP



Green Note

第29号
令和5年7月
発行

島根県農業法人協会だより

発行／島根県農業法人協会〔事務局：（一社）島根県農業会議内〕

〒690-0876 島根県松江市黒田町432番地1 TEL (0852) 22-4471 FAX (0852) 27-2235 E-mail: webmaster@shimane-21.gr.jp

はじめに

世界情勢の緊迫などにより、食料安定供給のリスクが現実のものとなっています。農業分野においても、燃料・原材料、配合飼料などの生産資材が高騰し、生産現場の厳しさは増しており、安定生産、営農継続に支障をきたしかねない状況になっています。この数年、新型コロナウイルスの感染拡大により人が集まりにくい状況が続きましたが、ようやく落ち着きつつあります。令和4年度も、活動が制限された状況でしたが、経営管理能力向上研修会を開催し、その後久しぶりの交流会も実施致しました。また、会員の声を踏まえた「島根県版政策提言書」を作成し、県農林水産部長へ提言を行いました。また、大学・高校・農林大学校、陸上自衛隊出雲駐屯地へ人材確保のPR活動を行いました。そして、会員名簿をホームページで閲覧出来るようにし、外部へのPR活動に努めました。今後より一層、発展させて行きたいと思いますので、今後ご協力をよろしくお願い申し上げます。



島根県農業法人協会
会 長 勝部 喜政

令和5年
3/6 MON
松江市

島根県農林水産部長へ 島根県版の政策提言



令和5年3月6日(月)、島根県農業法人協会の会員(プロ農業経営者)からの声にもとづき、安全・安心な国産農産物の生産と国民への安定的な食料供給の責務を果たし、日本農業や地域社会の発展に貢献できるよう、「政策提言書」を公表し、西村秀樹島根県農林水産部長へ提出致しました。

令和5年
4/12 WED
松江市

島根県農林水産部長 との意見交換



令和5年4月12日(水)、島根県版政策提言書の中の「雇用の確保・人材育成」「コスト低減の取り組み」について、野村良太島根県農林水産部長へ、会員の事例紹介・説明と課題について、意見交換を行いました。

島根版「政策提言書」(概要) 令和5年3月作成 ～我々の目指す未来～「農業が若者の将来就きたい職業の第1位になること」

政策提言の主な事項	
1 基本的考え方	●農政改革の方向性を堅持し実践・定着させつつ、県と担い手が意見交換を行い、課題を解決すること。
2 農業法人等の担い手と農地の問題の解決	●「地域計画」の確実な取組と、集積・集約化を生かす基盤整備をすること。 ●外国人や農福連携など多様な者の受入体制の整備をすること。 ●後継者及び新規就農者の育成強化と経営力・経営感覚を有する担い手を育成すること。
3 国際競争力強化に向けた安定的・効率的な生産	●行政手続きのオンライン化及び大幅な簡素化と公平な運用など、規制緩和に努めること。 ●生産資材の安定的な確保・備蓄に努め、未利用資源の活用や糞尿の肥料化など、実用化を進めること。 ●技術開発・品種開発、最新機器が利用できるデジタル・インフラなど環境整備をすること。
4 農業所得向上に向けた環境整備	●効率的な流通システムの整備と生産県における物流システムの構築を進めること。 ●6次産業化に積極的に取り組める環境を整備すること。
5 農業を安定して継続できる仕組みの構築など	●脱炭素化、有機農業などの持続的生産体制の構築などに取り組む担い手に必要な支援策を講じること。 ●農地・水路等の農業インフラの維持、深刻化する野生鳥獣などの対策を推進すること。

目指す経営の姿

- 我々は、農業政策の展開方向を踏まえ、政治、行政及び国民に向けて積極的に提言し、規制を排除し農業経営の自由度を向上させ、安全・安心な国産農産物の生産と国民への安定的な食料供給の責めを果たし、我が国経済及び地域社会の発展に貢献する。
- 会員は我が国の農業経営のリーダーとして自己責任と創意工夫で自立した経営を確立し、不断の経営改善により世界に通用する強靱な経営を続け、日本農業の発展に貢献する。